

1 3 交流

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02 総務費	01 総務管理費	12 国際交流費	98,935
一般	02 総務費	02 企画費	02 計画調査費	328,997
一般	02 総務費	02 企画費	05 土地水対策費	22,685
一般	07 商工費	03 観光費	01 観光費	897,756
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	01 道路橋りょう総務費	492,262

1 新しい徳島づくりの推進

1 地域づくり活動の促進（県民との協働課，地方分権推進課）

1(1) とくしま県民活動プラザの整備

地域づくり，NPO，ボランティアなど県民の自主的・自立的な社会貢献活動の総合的な支援拠点として，とくしま県民活動プラザを運営し，活動・交流の場の提供，情報収集・提供，広報・啓発，相談・支援，人材育成等の各種支援事業を実施した。

1(2) 協働推進モデル創出事業の実施

県民ニーズに沿った事業展開，官民協働のためのノウハウの蓄積，職員の意識改革等を目指し，社会貢献活動団体からの協働事業の提案によるパイロット的な委託事業を実施した。

事業の名称	委託事業件数	委託費合計額
協働推進モデル創出事業	7件	5,991千円

1(3) 市町村等が行う地域づくり事業の支援

地域の個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため，官民協働による新しい地域づくりに取り組む市町村のモデル的・先駆的な事業に対して，地域創造モデル事業交付金を交付した。

交付事業件数	交付金合計額
12件	16,580千円

1(4) 生き生きふるさと応援事業

U J I タ - ンによる本県への定住を進めるとともに、県民のふるさとづくりへの理解と関心を深めるため、情報発信等を行った。

- ・県ホームページ「市町村定住・交流サイト」による情報発信
- ・東京都有楽町にある「ふるさと情報プラザ」での情報発信
- ・県・市町村「団塊の世代対策」推進協議会による情報発信
- ・全国組織である移住・交流推進機構（J O I N）との連携による情報発信
- ・四国交流・定住促進事業による情報発信，モニターステイの実施

2 広域交流の推進

1 新しい広域交流圏の形成（道路建設課）

1(1) 太平洋新国土軸構想の推進

ア 太平洋新国土軸構想の推進及び紀淡連絡道路の推進

(ア) 紀淡連絡道路の推進

紀淡連絡道路の整備促進に向けて、大阪湾環状紀淡連絡道路建設推進協議会と連携し、要望活動、広報活動等を実施した。

2 新たな交流資源の創造（観光企画課，にぎわいづくり課，南部総合県民局）

2(1) 体験型観光の推進

本県が誇る豊かな自然や伝統文化などを活用した体験型観光を推進するため、県内各地の取り組みを育成・支援するとともに、体験プログラムを利用した教育旅行の誘致に取り組むことで、交流人口の増大と地域の活性化を図った。

2(2) 四国いやしのみちづくり事業

シンポジウム交流会を開催し、意見交換や情報提供を行うとともに、パンフレットを作成し、事業のPRを行った。

上勝町については、オブザーバーを派遣し、事業活動について意見交換を行った。

2(3) 阿波の国ネットワーク推進事業

全国各地に広がる県人会の人的ネットワークを利用し、物産の販路拡大や観光誘客の推進を図るとともに、全国徳島県人会連合会が委嘱する「徳島交流大使」を通じた、全国各地との交流の拡大に努めた。

2(4) もっと知りたい徳島事業

四国4県の連携により「四国観光検定」を実施し、県民参加による観光振興を図った。

2(5) みなみあわチャレンジフィールド創設事業

県南部において、アウトドアスポーツに適したフィールドの調査やコース設定、専門誌等での情報発信を行い、アウトドアスポーツを通しての交流促進を図った。

3 交流の場づくり（県民との協働課、にぎわいづくり課）

3(1) あすたむらんど(ふれあい公園)の管理運営

自然とふれあいながら夢や探求心を育むとともに、人と人との交流の場を提供することにより、あすたむらんど（ふれあい公園）の適正な管理運営を行い、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に貢献した。

3(2) 渦の道の管理運営

渦潮をはじめとする鳴門公園地区の優れた自然及び大鳴門橋を間近に見学することができる渦の道の適正な管理運営を行い、本県の観光振興に貢献した。

3(3) 出島地区開発事業の推進

阿南市出島地区開発事業について、第三セクター方式により健全経営を維持しつつゴルフ場運営を行い、スポーツ・レクリエーションや地域の振興を図った。

3(4) 吉野川新交流プランの推進

「吉野川新交流プラン」を推進するため設置された「吉野川交流推進会議」に参加し、「アドプト・プログラム吉野川」や子ども体験事業、吉野川写真展などを実施した。

3 国際交流の推進

1 地域の国際化の推進（文化国際課国際交流室）

1(1) 外国青年招致事業の推進、語学教育の充実

国際交流員及び英語指導助手として外国青年を招致し、地域レベルでの国際交流を推進するとともに、英語教育の充実を図った。

事業名	事業内容	備考	
外国青年招致事業	雇用期間	原則1年間	
	招致人員	80名	
	勤務先	徳島県文化国際課	3名
		徳島県教育委員会	21名
		鳴門市文化交流推進課	2名
		美馬市総務課	2名
		市町村教育委員会	52名
		過去の招致状況	
		昭62年度	6名
		昭63年度	12名
		平元年度	19名
		平2年度	24名
		平3年度	34名
		平4年度	43名
		平5年度	49名
		平6年度	52名
		平7年度	55名
		平8年度	59名
		平9年度	61名
平10年度		66名	
平11年度	69名		
平12年度	73名		
平13年度	76名		
平14年度	76名		
平15年度	75名		
平16年度	77名		
平17年度	80名		
平18年度	81名		

1(2) 国際性豊かな県民の育成

県民の国際理解を促進するため、国際理解支援講師を派遣するとともに、国際理解の分野で活躍している方の講演や県内留学生と県内学生との意見交換会を開催した。

また、日本語指導ボランティア養成講座を県内2ヶ所で開催するとともに、災害時、医療、教育関係の3分野において、ボランティアスキルアップ研修会を開催した。

2 多様で広範な国際交流の推進（文化国際課国際交流室）

2(1) 広東省交流推進事業

平成8年10月に徳島県と広東省との間で「友好交流と協力に関する協議書」を調印しており、平成19年度には両省県の相互理解や多様な交流・協力をさらに進めるために以下の事業を実施した。

事業名	事業内容	備考
広東省からの公式訪問団の受入	広東省広州市文化局組織人事処・張志雲処長を団長とする公式訪問団を受入	平成19年10月9日～14日
広東省・徳島県友好交流書道展の開催	広州芸術博物院（広東省広州市）所蔵の書作品を文学書道館において展示する書道特別展「広州芸術博物院秘蔵の書～明・清から近現代～」を開催	平成19年10月13日～11月25日

2(2) ニーダーザクセン州友好交流推進事業

ドイツ・ニーダーザクセン州と徳島県との間で「交流に関する共同宣言」に調印するとともに、人形浄瑠璃上演による文化交流を行った。

事業名	事業内容	備考
徳島県ドイツ公式訪問団の派遣	公式訪問団をニーダーザクセン州に派遣し共同宣言書に調印するとともに、同州内の各関係機関を訪問した。	平成 19 年 9 月 12 日～ 19 日
人形浄瑠璃の派遣	阿波人形浄瑠璃選抜チームを派遣し、ニーダーザクセン州内の各都市で公演を実施した。	平成 19 年 9 月 12 日～ 18 日

2(3) 自治体職員協力交流事業

海外の地方自治体等の職員を協力交流研修員として受け入れ、日本の自治体の実際の知識や技術等を習得してもらうとともに、自治体の国際化施策等への協力を通して自治体の国際化を推進した。

事業名	事業内容	備考
自治体職員協力交流事業	受入期間 5 月 20 日～ 12 月 12 日 受入人員 1 名 国 籍 中国	19 年度末までの受入状況 2 カ国 12 名

3 国際協力活動の推進（文化国際課国際交流室）

3(1) 技術協力等の推進

ア JICA ボランティア等への参加の促進

開発途上国の国づくりのために、ボランティアとして派遣される青年海外協力隊やシニアボランティアへの積極的な参加を県民に呼びかけた。

事業名	事業内容	備考
青年海外協力隊派遣事業	派遣先（平成 19 年度末現在） エルサルバドル 1 名 ケニア 1 名 コスタリカ 1 名 エチオピア 1 名 ジャマイカ 1 名 中国 1 名 フィリピン 1 名 ボリビア 1 名 ホンジュラス 1 名 ミクロネシア 1 名 セネガル 1 名 マラウイ 1 名	派遣期間 原則 2 年間 19 年度末までの派遣状況 46 カ国 累計 195 名
シニア海外ボランティア派遣事業	派遣先（平成 19 年度末現在） ケニア 1 名 ネパール 1 名	派遣期間 1 又は 2 年間 19 年度末までの派遣状況 9 カ国 累計 10 名

4 外国人にやさしい徳島づくりの推進（文化国際課国際交流室）

4(1) 外国人にも暮らしやすい環境づくりの推進

ア 多言語による地域・生活情報の提供

多言語（英語・中国語）による生活情報を電子媒体により市町村に提供した。

イ 在県外国人等への生活支援講座の開催と相談窓口の設置

日本語教室を県国際交流プラザの他，県内 5 ヶ所で開催するとともに，（財）徳島県国際交流協会に設置する生活相談員により，在県外国人等からの各種相談に応じた。

日本語教室受講者数 374 人 相談者数 2,626 人

ウ 地域共生サポーターの配置や在住外国人支援ネットワークの形成

在住外国人支援にあたるボランティアを地域共生サポーターに委嘱し，研修会を開催するとともに，外国人対象の相談業務を行っている機関・団体で相互に情報交換や支援策の連携協議を行うための在住外国人支援ネットワーク会議を開催した。

地域共生サポーター数 95 人

5 国際化推進の拠点の充実（文化国際課国際交流室）

5(1) （財）徳島県国際交流協会の充実

本県における国際交流の拠点である（財）徳島県国際交流協会の交流機能，情報収集・発信機能及び市町村国際交流協会等との連携機能の強化を図った。